 **みなみおおすみ**

みんなの議会

第**50**号

平成29年
11月号



P2

みんなの
議会

50号12年のあゆみ

P3

議会
報告会

みんなの声を活かします

P4

8・9
議会

町道維持補修など追加

P7

新庁舎
建設

設計プロポーザルの結果は

P8

町政を
問う

一般質問 6名が登壇

平成17年10月に発行された
「みんなの議会」第1号

町民と行政のかけはし
南大隅町
みんなの議会

新町・南大隅町議会がスタートしました!

◆月定例会まで
●4月定例会で決めた主な議案内容
●新当選は13人の議員が行いました
●新しい議員会の構成と議員名簿
●みなさんからの御座談会状況

◆発行
発行所 南大隅町議会
発行日 平成17年10月25日
発行部数 1,200部
発行部数 1,200部

第1号
平成17年10月

平成17年度 当初各会計予算額

会計区分	予算額	決算額
一般会計	68億4,466万3千円	68億4,466万3千円
特別会計	13億8,700万3千円	13億8,700万3千円
基金	6,600万3千円	6,600万3千円
繰上金	20億5,469万2千円	20億5,469万2千円
おごり金	1億5,469万2千円	1億5,469万2千円
繰下金	13億2,212万円	13億2,212万円
予備費	2,200万5千円	2,200万5千円
合計	122億9,826万5千円	122億9,826万5千円

◆町民と行政のかけはし
◆町民と行政のかけはし
◆町民と行政のかけはし

南大隅町議会だより

◆町民と行政のかけはし
◆町民と行政のかけはし
◆町民と行政のかけはし

◆町民と行政のかけはし
◆町民と行政のかけはし
◆町民と行政のかけはし

みんなの議会

50号 12年間のあゆみ

町民と行政のかけはし
南大隅町
みんなの議会

南大隅ふるさと祭り

◆発行
発行所 南大隅町議会
発行日 平成17年8月10日
発行部数 1,200部

第10号
平成17年8月

平成17年旧根占町と旧佐多町が合併し、南大隅町の誕生に合わせ、南大隅町議会もスタートしました。「みんなの議会」第1号の発行が10月となっていたことから、合併当初のあわただしさが窺い知れるようです。その後は、定例議会の開催ごとに、年4回の発行を続け、今回、50号の発行を迎える事となりました。これからも、町の動きを「みんなの議会」独自の視点から、より詳しく、わかりやすい内容で皆様にお伝え出来る様に努めて参ります。

町民と行政のかけはし
南大隅町
みんなの議会

3月定例会まで

◆発行
発行所 南大隅町議会
発行日 平成17年3月20日
発行部数 1,200部

第20号
平成17年3月

32号より全ページカラー印刷になりました

町民と行政のかけはし
南大隅町
みんなの議会

議会全部決り案決定!

◆発行
発行所 南大隅町議会
発行日 平成17年5月10日
発行部数 1,200部

第30号
平成17年5月

町民と行政のかけはし
南大隅町
みんなの議会

3月定例会・5月会議

◆発行
発行所 南大隅町議会
発行日 平成17年5月10日
発行部数 1,200部

第32号
平成17年5月

新体制12議員
新たな議会スタート!
- 議会構成 -

議長 大村 明雄
副議長 川原 拓郎

職名	議員名	教育産業委員会
議長	大村 明雄	議員名
副議長	川原 拓郎	議員名
委員	松元 希希	議員名
委員	長瀬 義典	議員名
委員	日高 孝雄	議員名
委員	久保 幸雄	議員名
委員	川原 拓郎	議員名
委員	大村 明雄	議員名

町民と行政のかけはし
南大隅町
みんなの議会

3月・4月・5月会議

◆発行
発行所 南大隅町議会
発行日 平成17年5月10日
発行部数 1,200部

第40号
平成17年5月

みんなの声を活かします!!

【議会報告会・自治会長会と語る会を開催】

9月22日、最終本会議終了後、自治会長連絡協議会との議会報告会並びに語る会が実施されました。当日は15名の方の参加を頂き、議会からの報告を20分程度行った後、建設的な意見交換が活発に行われ、予定していた時間をオーバーして意見交換が行われました。



- 町内各地の観光地で経済効果をあげる為の施策を実施してほしい。
- 道の駅・ネッッピー館・物産館等の観光施設の活性化を図るような施策の実施を。

- 町内各地の「田の神」を生かした観光にも取り組んでほしい。「田の神マップ」等を作ってみるのも良いのでは。
- 町内の史跡等もっと積極的にアピールしていくべきだと考える。



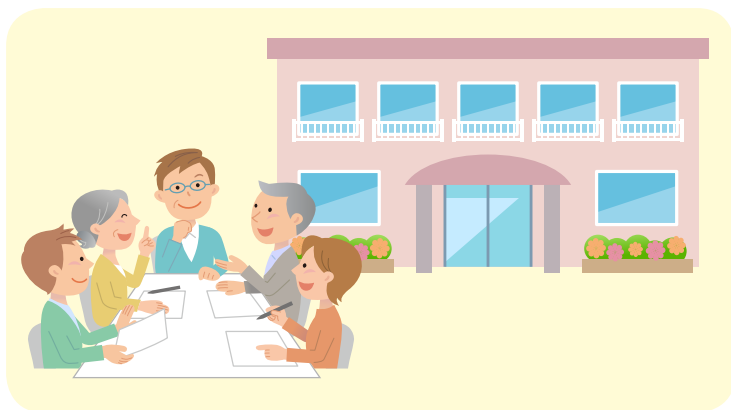
- 高齢化が進む自治会内において生活道路の維持管理が非常に厳しくなってきました。対応策を考えて欲しい。

地域振興施設整備事業補助金 町道維持補修事業などを追加

8月会議は補正予算1件、9月会議は、補正予算など10議案を審議し、全て可決しました。人権擁護委員の推薦に係る諮問1件に同意し、平成28年度一般会計及び7特別会計の決算認定は特別委員会に審査が付託されました。

8,977万円を追加し
総額76億25万3千円に

地域振興施設整備事業補助金



事業費 500万円

町内の自治会機能を維持し、行政事務の連絡調整自治会員の共助による健やかな生活のために必要な施設整備に対して助成。

【事業内容】

自治会で管理する公民館、防犯灯、有線放送及び無線放送施設の新設又は維持補修等に係る経費の一部を助成する。

町道維持補修事業



事業費 2,120万円

町民の安全性や利便性を考慮し、より安全で便利な通行を確保するため、路面や側溝等の補修を実施。

【事業内容】

4路線の補修

鳥獣害防止施設整備事業



事業費 108万円

鳥獣等による農作物被害を防止し、農業経営の安定を図るために侵入防止柵を設置する。

【事業内容】

電気柵整備補助金（1/2助成）

ワイヤーメッシュ整備助成(1/2助成)

168万円



本庁舎建設に係る設計業者を、プロポーザル方式により選定するため、審査機関を外部に委託し、公平かつ適正に委託候補者の選定を進めるものです。また、建設検討委員会の拡充も図り、実施設計を進めます。

プロポーザル方式とは？

庁舎の設計者を選定する際に、複数の業者に目的物に対する企画を提出してもらい、その中から優れた提案を行った業者を選定する方式です。

審査会は一部公開で実施されました。

総務課長 委託業者等とも協議をして、公開での実施を検討したいと考えます。

水谷議員 町にとって大きな事業で、大事な決定であるならば、公開で実施すべきと考えるが、公開しない理由はない。

総務課長 現在のところは、公開での実施は考えておりません。

水谷議員 審査会は公開で実施される考えか。

議案の質疑 チェックします

予算に対する

反対

討論

賛成

水谷議員 私は反対の立場で討論します。庁舎建設事業に於いて設計プロポーザルの審査を外部委託する予算が提出されておりますが、我々が使用する庁舎を外部委託する事はありません。そもそも、庁舎建設にあたっては、「庁舎建設の基本計画」を策定しそれに照らし合わせながら審査・選定すべきものであります。基本設計の決定を外部委託するという事等ありません。

木佐貫議員 私は賛成の立場で討論いたします。一般的な建物の建設に於いては建設コストを・安全性・利便性を第一に考え将来的な維持管理にお金がかからない建物を建設すべき設計をされます。その様な事からも、専門的見地からこれらの事を踏まえ審査・選定することは、公平かつ適正に審査されると考えます。

採決の結果 → 8対3で可決

塵芥処理車購入 契約の締結を承認

契約の目的

塵芥処理車購入
(いすゞ3トン)

契約の方法

指名競争入札(4社)

契約金額

7百12万9千440円

契約の相手方

いすゞ自動車九州株式会社
鹿屋支店



消防ポンプ自動車購入 契約の締結を承認

契約の目的

消防ポンプ自動車購入
(宮田分団)

契約の方法

指名競争入札(4社)

契約金額

2千2百3万2千円

契約の相手方

株式会社 鹿児島消防防災



私の判断

(○…賛成、×…反対)

※議長は裁決には加わりません。

		浪瀬 敦郎	松元 勇治	津崎 淳子	後藤 道子	水谷 俊一	日高 孝壽	大坪満寿子	持留 秋男	大久保孝司	木佐貫徳和	川原 拓郎	大村 明雄
予算	8月会議 一般会計補正予算(第6号)	○	○	×	○	×	○	×	○	○	○	○	-
	9月会議 一般会計補正予算(第7号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	特別会計補正予算(介護保険)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
計画	辺地総合整備計画の策定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	辺地総合整備計画の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	過疎地域自立促進計画の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
認定	町道の路線認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
契約	塵芥処理車購入契約の締結について(他1件)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	工事請負契約の締結について(他1件)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

株式会社 畠中設計 案に決定！

本庁舎建設基本計画・実施設計プロポーザル

㊟ この図面はプロポーザル審査会に設計提案として提出されたものです。



本庁舎完成イメージ図

平成29年9月22日 議会全協・自治会長会



設計事務所の説明を受ける審査員

9月18日午後1時より、本庁議場に於いて「南大隅町本庁舎建設基本計画・実施設計プロポーザル審査委員会」が開催されました。これに先立ち9月10日に1次審査が実施され5社から3社に絞り込まれていました。

当日は、1次審査を通過した、設計事務所3社がそれぞれ、15分間のプレゼンテーションを行った後、委員によるヒアリングが15分間行われました。また、審査会は、十数名の傍聴者の中、公開で実施されました。

南大隅町本庁舎建設基本計画・実施計画プロポーザル審査委員会

区分	氏名	所属
委員長	友清 貴和	鹿児島大学名誉教授
副委員長	根本 修平	福山市立大学都市経営学部都市経営学科講師
委員	南園 洋生	南大隅町社会福祉協議会副会長
委員	湯田 義光	南大隅町自治会長連絡協議会会長
委員	上橋 広行	鹿児島県土木部建設技監
委員	白川 順二	南大隅町副町長
委員	相羽 康德	南大隅町危機管理監兼総務課長
委員	堂地 彰	南大隅町建設課土木係長

その後、大会議室へ会場を移し非公開で最終審査が実施されました。審査結果については、次の通りに決定いたしました。

【最終審査結果】

◎ 最優秀提案者

株式会社畠中設計

◎ 優秀提案者

株式会社東条設計

総務民生常任委員会所管事務調査

〔町内の福祉サービス等の状況を調査〕

平成29年8月24日南大隅町老人福祉センターで、本町の福祉サービス等の現状について調査を実施しました。
介護福祉課及び社会福祉協議会の説明を受け、委員との活発な意見交換が出来ました。



〔結果〕

- ① 緊急通報システムについては、とても良いシステムであるので、町報等を通じて、広く広報するよう希望する。
- ② 高齢化率鹿児島県トップの町として、福祉サービス従事者の人員確保に努められたい。
- ③ 社会福祉協議会のヘルパーの待遇改善（生活できる待遇）を行い、人員確保に努められたい。
- ④ 地域おこし協力隊の募集において、福祉部門の枠をお願いしたい。
以上4項目を担当課へ報告いたしました。

伝える広報から 伝わる広報へ

〔広報広聴常任委員会〕

8月23日鹿児島市に於いて、市町村議会広報研修会が開催され、「住民に読まれ議会活動が伝わる議会広報の基本と編集」を演題に、議会広報サポーターである芳野政明氏の講演がありました。講演終了後、始良市議会や東串良町議会等9市町村の議会広報の診断が芳野氏によって行われました。6名の委員全員で参加し、それぞれが「みんなの議会」の編集における基本を学び、併せて他の市町村の議会広報紙の良い点悪い点など具体的事例を交えて解説して頂きました。見出しでも書いたように、「伝える広報から伝わる広報へ」作る側の意識を変え、読み易く、わかり易い紙面作りを心がけていきたいと思えます。そして「みんなの議会」が自治体情報の主役となるよう努力してまいります。



思わず、読んでみたくなる紙面づくりの為に



掲載している内容は、質問者自身が要約し、広報広聴常任委員会が校正したものです。
全文は、議会ホームページのほか、議会事務局でご覧いただけます。

掲載順	質問事項	質問議員
1	<ul style="list-style-type: none"> ・2020年オリンピック・国体に伴う、インフラ整備について ・空き家対策について 	松元 勇治
2	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険の申請について ・高レベル放射性廃棄物について 	津崎 淳子
3	<ul style="list-style-type: none"> ・核関連施設「科学的特性マップ」について ・廃虚解消について 	大坪 満寿子
4	<ul style="list-style-type: none"> ・新庁舎整備について 	浪瀬 敦郎
5	<ul style="list-style-type: none"> ・学校現場の空調設備について ・避難所の整備について 	後藤 道子
6	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険事業について 	水谷 俊一

2020年、東京オリンピック国体開催に伴うインフラ整備について



議員 自転車競技場、きつね塚公園周辺の整備計画はどのように考えられるか伺います。

教育長 2020年の国体に向けて駐車場として活用を図りたいと考えています。

町長 駐車場として利用する考えですが、トイレ、プール等の施設は補修するか、再度検討します。

議員 きつね塚公園を観光資源として児童公園の機能を持った状態で一部残してもらいたいです。

議員 宿泊所は、どのように対応するか伺います。

町長 今後、宿泊所が足りない状況において、閉校した学

校施設や、空き家を利用した宿泊所なども、再度検討していきたいと思えます。

議員 インバウンドに対応した観光案内板などの設置は、どのように考えられるか伺います。

町長 本町においても、これに対応するため、平成27年度に観光客を目的の地まで誘導する観光案内標識を英語併記として町道沿いに30基設置しており、本年度も20基設置する計画です。



空き家対策について

地域住環境を維持・確保するため総合的な対策に取り組みます。

議員 空き家対策について、空き家調査結果による今後の重点施策を伺います。

町長 調査結果を踏まえ「空き家等対策推進協議会」を設置し、法務、不動産、建築など専門家を含む関係者で「南大隅町空き家対策計画」について多角的に検討してまいります。

議員 廃屋など取り壊しが必要とされる物件への指導や費用の一部補助は考えられないか伺います。

町長 法律により空き家への立ち入り調査権や適正管理のための勧告及び措置を命ずることや、行政代執行法に基き、取り壊しなどの方法が規定されておりますが、所有者や近隣住民等とのトラブルも考慮しなければなりません。補助制度については、国庫補助事

業がありますが、本町においては、防災面や環境整備等を考慮しますと解体撤去もやむなしと判断できる空き家等が多く存在することから、解体費用の一部助成制度を新年度から実施できるよう交付要綱等を整備してまいります。

議員 所有者が廃屋を壊したいと思っている中で、町がひと押し加勢できる解決方法は考えられないか伺います。

町長 補助金をする考えではありません。今後、整理する中で、上限額を決めて、おおよそ3分の1程度の費用を補助できるよう考えます。廃屋を撤去し更地になった土地を登録する空き地バンクの創設も考えています。

地域の問題を皆で一緒に考え、心が過疎にならぬよう

議員のひとり言

津崎 淳子 議員

介護保険の申請で要介護認定の厳格化によりサービスの抑制につながらないか。



町長 サービスの抑制の為に要介護認定を厳格化していない。

議員 認定調査員が行う、介護調査には74の項目があります。迷った時に、特記事項に書いたりされるが、調査員の匙加減は入らないか伺います。

護社長 介福課 は、特記事項の記述については、認定の判断に迷う場合は、

高レベル放射性廃棄物について

議員 公の場で「放射性廃棄物の受け入れや持ち込みを拒否する条例」を制定しているから反対すると言われるが、条例の有無に関係なく町長の考えを伺います。

町長 2期目、3期目出馬の選挙の公約にも核関連施設受け入れ反対を挙げています。これまで同様、条例の有無に関係なく受け入れは拒否してまいります。

もしくは、調査における状態等で選定項目の中で判断しきれない部分については、細かく書くようになっていきます。調査員の研修テキストにおいても、記載の方法等が書かれており、周知も十分行っておりますので、認定調査員の一方的な主観はございません。

議員 高レベル放射性廃棄物の候補地探しの文献を政府が申し入れてきたらどう対処されるのか？また、南大隅町が応募するのかが伺います。

町長 条例を遵守し文献調査に關しては、断固拒否しますし、また応募もいたしません。

議員 その言葉を聞いて安心しました。本当にこの美しい自然、豊かな食材の宝庫、人の温かさ、町長が最初から挙げた「観光」も核のごみを受け入れたらすべてなくなります。福島原発事故後に、福島出身という事で、いじめや結婚が破談になったりするので、隠して移住先にいる人もたくさんいます。子供の甲状腺がんは、今年6月5日に公表された福島県民調査報告書によると152人です。子供を被爆させた親の苦しみ、被爆しているかもしれない苦しみ、故郷を失くしたつらさ、家族離散、離婚、生活苦、その様な事が核のごみを受け入れたら起きるかもしれません。最近、地震も鹿児島でも多く、地震速報が出れば、すぐ川内原発は、「大丈夫なのか」と思います。それが、核のごみが南大隅町にきたら、もっと地震のた

びに不安になります。

子供や孫が帰ってこれる町、ウインタータウンができる町、人が安心して住める町にしないでほしい。この問題は、南大隅町だけの問題ではなく、大隅半島、鹿児島全体の問題だと思います。国が核のごみのマップを公表後、テレビで辺塚付近の上空からの映像が映され、あたかも人が住んでいないかのように見え、県外から見たら「そこでもいいじゃない」と思われます。国・県と一体となって観光事業を進めていって半ばで風評被害は、大変なことです。町長が先頭に立って大隅半島が鹿児島県が断固拒否の方向で働きかけていただきたいです。

※高レベル放射性廃棄物とは？

原発の使用済み燃料から出る廃液。核のごみとも言われています。



議員のひとり言

介護が必要な人が適切な介護サービスを受けられるように支える仕組み作って。

核の最終処分場問題 町内推進派コメントと科 学的特性マップに対する 町長の感想・考えは？



町長 これまで同様、
条例に基づく政治信条である。

議員

七月十六日付新聞紙上に
推進派の方が、町の人口減
を理由に、地質学的に優れている
のであれば誘致が唯一のチャンス。
六ヶ所村等視察も行っており誘致
反対から賛成に転じた人もいると
のコメントも掲載されました。

誘致派に動かされることなく、
この南大隅町を守ってくださいの
か伺います。

又、七月二十九日発表された科
学的特性マップを見ると、役場周
辺が含まれていないだけでその他
は、最適地となっています。マッ
プを見ての町長の感想・考えを伺
います。

町長

大隅半島に最終処分場が
計画されるとなれば、一次

町長

町内のほとんどが輸送面
でも好ましい地域となつて
いますが、これまで同様、核関連
施設受入断固反対であります。

議員

この秋から国が本格的に
説明会を開催との報道もあ
ります。

国が打診してきても今まで同様
断固拒否してください。

町長がリーダーシップをとり、
四市五町で核の最終処分場断固反
対を国に表明できないか伺います。

産業や観光面への影響も考えられ
るので、広域的に考えていくこと
は重要であると認識しております。

議員

大隅は一つです。町長が
先頭に立ちこの大隅を守つ
ていただきたいと思えます。

「核の最終処分場断固拒否
の町の垂れ幕を掲げるぐら
いの意思表示が欲しい」です。

廃虚解消について

議員

廃虚や不要な乾燥場など、
取り崩したいけれど解体料
金が高くなかなか崩せないとの声
を聞きます。台風など自然災害に
よる崩壊での人的被害や近所への
白アリ被害の拡大も考えられる廃
虚問題を解消する手段として補助
金を出し支援する考えはないか伺
います。

町長

新年度より解体経費の一
部助成制度を実施できるよ
う整備していきたいと思えます。

来年度は実施するとの答
弁。
危険な家屋も少なくなり、
困っている人もホッとされ
ることと思えます。



議員のひとり言

廃虚問題も核の最終処分場問題も観光を標榜する南大隅町にとってマイナス

新庁舎整備について問う。



町長 合併特例債の活用期限内の三十一年度完了の施行計画である！

議員 方針表明後の取組み状況と現在の進捗状況を伺います。

町長 外部組織により、プロポーザル方式での設計業者の選定中であり、9月18日に町民への一般公開による審査会を実施し、来年3月をめどに、実施設計までを完了させる予定で、業務を進めております。

議員 町民が利用しやすい庁舎であるべきと考えるが、コンセプト（概念）を伺います。

町長 新庁舎のコンセプトについては、将来にわたり大きな投資を行うことから、役場本庁

舎としての目的を十分に念頭に置いた上で、ゾーニング（用途別区分）とデザイン、町民が利用しやすい庁舎を基本課題に揚げ、町民の利便性を第一に、障害者や高齢者への配慮と併せ、雨天時においても利活用しやすい庁舎として位置づけ、初期投資や将来的なランニングコストの経済負担についてもコスト縮減の構造とする考えであります。

議員 福祉センター、シルバー、ブルンズ人材センターの耐震化も近づいてくるが、そのスペースを見据えての設計はどうか伺います。

総務課長 現時点では、考えておりませんが、将来的には可能であるかどうかを調査していきたいと考えております。

議員 全体事業を考えた場合に、現庁舎にある机・パソコン・備品類など使用可能な物件を再利用する検討はされているか伺います。

総務課長 座談会でもご意見がありました通り、できるだけ再利用できるものは再利用していく理念であります。

議員 工事期間中及び完成後の駐車スペースの構想について伺います。

総務課長 出来上がった設計等を考慮し、確保について考えていきます。

住民が不便を感じないよう
うに進めてください。

議員 完成までの全体工期について、また年度別管理について伺います。

町長 合併特例債の活用期限が現行制度では、平成31年度末までと限定されておりますので、平成29年度で実施設計を終え、平成30年着手、平成31年度完了の施行計画であります。

当然ながら厳しい日程でありますので、全体工程の監理を厳密に行い事業推進に滞りが無いよう努めて参ります。

議員 厳しい日程ではありませんが、町民に喜ばれる庁舎完成に向かっていただきたいと思います。



笑顔の対応に感謝～感謝の住民にも笑顔

議員のひとり言

学校現場の 空調設備について問う



教育長 学校環境の整備計画の中で 方向性を考えているところ

答

議員 普通教室の空調に対してどのように考えているか伺います。

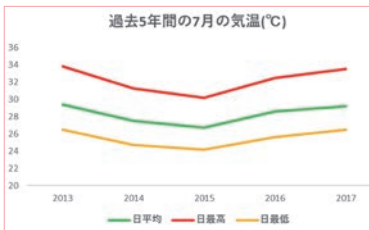
教育長 近年の地球環境の変化により、気温は年々上昇しており、個々の教室によっては、温度の格差があり、学習に支障をきたす場合もあるように聞いており、空調設備については十分検討したいと考えています。

議員 現在、特別支援学級のみ空調設備が整っているが、これはどういった観点からか伺います。

教育長 特別支援を要する子どもについては、身体的なもの、精神的なもの、いろいろあります

議員 普通教室の生徒も体調を崩す実情が出てくると考えますので具体的な対策を伺います。

教育長 学校職員や保護者との意見交換を行い、連携を密にし、学習環境の整備に努めます。



議員 指定避難所の設備について現状をどのように考えているか伺います。

町長 公民館や集会施設などは、避難環境の整っているところもありますが、旧小学校など、通常利用されない施設については避難された方々にご不便をかけているところもあります。

議員 八月の台風五号の時、避難所に行った際に、女性の方から着替え等のプライバシーの保護が不十分であるとの意見がありました。そのような環境を整えていく考えはないか伺います。

総務課長 避難が長期に及ぶ場合に、おいては、段ボール製品の供給協力に関する協定書を民間事業者と締結しております。短期間の場合については難しいところがあり、今後どのような方向があるか調査・研究したいと考えます。

避難所の設備について問う

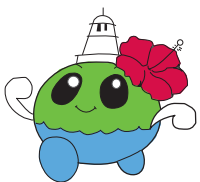
町長 防災専門官を配置し 避難上の改善を検討する考え

答

議員 廃校がたくさんありますが、旧宮田小学校の校舎は新しく、耐震も大丈夫だと考えますので、リノベーションして多目的に使える施設にする考えはないか伺います。

町長 学校施設の活用に関しては、委員会を作り年度内に早急に取りまとめ、新年度までに方向性を示したいと思えます。

きちんと整備された避難所を設けることが、町民の生命を守るために必要であると考えますので、検討してほしいです。



議員のひとり言

理想を現実にする力が欲しい。

来年度からの、 第7期介護保険事業で 予想される保険料は



町長 具体的には示せないが、保険料の増額は避けられない状況

議員 住民が、負担を感じる様な急激な値上げは避けるべき、長期的な観点から段階的な値上げを実施すべきだと考える。

議員 本町における介護職員の処遇改善の実態を伺います。

町長 ほとんどの事業所が、処遇改善を実施しており、賃金改善額は、平均2万円となっています。また、独自の介護職員確保施策として、資格取得のための受講料の2分の1（上限5万円）を支給する、「介護職員初任者研修助成事業」を実施しています。

議員 介護保険事業計画に自立支援等の取組と目標設定が義務付けられます。その事業計画の具体策を伺います。

町長 現在、実施している事業の検討を行い、第7期の計画に反映させていきたいと考えます。

議員 自立支援事業について国は、インセンティブを付与する事も認めるようです。これまでにない支援事業も検討できそうです。また、本町では、「来やん家」を拠点に多世代交流多機能型事業を実施されています。独自性があり、興味深い事業であると思いますが、今年度をもって県の補助は終了します。今後、町単独でも補助金をだし、事業を継続していく考えはあるか伺います。

町長 現在、事業者からの要望を受けた状況等ではありません。この事業の必要性並びに地域貢献されている状況は把握しておりますので、今後、検討・協議を重ねていく事になるかと考えます。

議員 今後は、高齢者だけでなく、子供や障害者を含めた包括的な支援体制が必要となつてきます。その為にも、このような事業を残し広げていく事が重要だと考えます。



多世代交流多機能型拠点「来やん家」

議員 医療と介護の両方を必要とする高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続ける為の、在宅医療・介護連携推進事業の実施状況と今後の対応策を伺います。

町長 現在、事業の一部を肝属医師会立病院へ委託し、地域包括支援センターと介護サービス事業者が連携協力しながら実施しています。今後は、住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを続けるような医療介護の関係機関と地域が連携していく仕組みを整えていきたいと考えます。

議員のひとり言

介護を必要とせず、老後を生き生き暮らす為の、支援の拡充が必要です。

南大隅和牛の名声を 全国へ届けた「さちこ3号」

農林水産生産局長賞を受賞

佐多伊座敷 恒吉勝行さん出品

第11回能力共進会(和牛のオリンピック)が仙台市で行われ、本町代表として恒吉勝行さんの「さちこ3号」が激戦区である第5区に肝属管内の繁殖雌牛4頭1組で出品されました。さちこ3号には、子牛を出産してから僅か数日しかないなかで、通常に比べ、非常に難しいコンディションの調整を行わざるを得ないという、大変なハンデを背負いながらも、鹿児島県第5区の1頭として活躍いたしました。結果、宮崎県に首位は譲り、惜しくも全国第二位ではあったものの、審査講評において宮崎県の出品と比較して、非常に優秀付けがたく、どちらが一位になってもおかしくはないものであつ

たとの評価を頂いております。その言葉通り同区1位の宮崎を押さえ、恒吉さんの第5区が大会特別賞を受賞し、全国制覇達成に多大な貢献をいたしました。



さちこ3号と恒吉さん 宮城全共にて

編集後記

しだいに、秋の深まりを感じる様になってきました。陽が傾き、西の空が茜色に染まったかと思うと、たちまち沈んでしまします。「秋の夕日は釣瓶落とし」と言われる所以も、わかる気がします。

気温が下がり、空気が澄んできた秋の夜空では星の数もしだいに増えていき、思わず見とれてしまいます。今年も、旧暦の8月15日にあたる、10月4日が「中秋の名月」十五夜でした。時より雲の切れ間から覗く名月が、満月でなかった事に気付かれた方も多かったと思います。満月は10月6日、家の近所では、この日に十五夜のお祭りが催されています。

議会も4月の改選で、新人4名が加わり、新たな風が吹き出したように感じます。「みんなの議会」も、その4名を編集メンバーに加え新たな視点で、読み易く、わかり易い誌面づくりに取組んでおります。今後とも「みんなの議会」をご愛読頂きますようお願い申し上げます。

水谷 俊一

表紙の風景

根占保育園・つじみ保育園運動会



【お知らせ】

12月会議は、佐多支所議会議場で開催されます。

「みんなの議会」では見る事ができない議会が、ご覧になれます。詳しい日程等は議会事務局までお問い合わせください。

〔発行責任者〕

議長 大村 明雄

〔広報広聴常任委員会〕

委員長 水谷 俊一

副委員長 木佐貫徳和

委員 津崎 淳子

委員 後藤 道子

委員 日高 孝壽

委員 大坪満寿子